

第1回 ひと咲きまち咲きあまがさき推進会議

日時：平成31年2月28日（木）16：00～17：00

場所：尼崎市役所北館4階 会議室4-1

1. 開会

座長： それでは、第1回ひと咲きまち咲きあまがさき推進会議を開催する。さっそ
くだが、事務局から資料の確認をお願いする。

2. 【付議案件1】総合計画と分野別計画の連携強化に向けた検討

事務局より資料説明

座長： 全体的な考え方とそれぞれのツリー図の2種類の資料の説明が事務局からあ
ったが、気になる部分などがあれば、意見等をいただきたい。

はじめに言うておおくが、この仕組みはこれから始めようとするものであり、
施策評価が毎年度ブラッシュアップしているように、この仕組みについても使
いながらブラッシュアップしていくつもりであり、現時点で完成形という形で
はないので、その点も踏まえながら意見交換していきたい。

委員： 今回提示のあった考え方やツールについては、今後どのようにオープンにし
ていくのか。

座長： 年度末に総会等が開催される附属機関が多く、そこで配布していただければ
と考えている。各分野の附属機関委員に担当する分野別計画が市全体のどこに
位置付けられているのかなどを理解していただいた上で、個別の審議をしてい
ただきたいと思っている。また、審議会委員と共有をはかる前提として、当然
ながら、職員についても自分が担当している業務が、全体のどこに位置してい
るのかというのを俯瞰的に見て、把握することが必要である。

各附属機関の委員にこの資料について意見をもらうのではなく、あくまで参
考資料として情報提供するものであり、市の現状を共有するための内部管理ツ
ールだと考えている。

ツリー図を見てもらえればわかるように、非常に多くの計画が策定されている。
ももとの問題提起として、「計画を使いこなせているのか」というところがある。
計画期間をみても、古くから改定されていないものもある。本来は、総合
計画が今、5年スパンで見直しが行われているが、総合計画の改定、個別計

画の改定が順々に行われ、それぞれの内容を反映しあいながらブラッシュアップしていくのが理想である。

また、我々は人事異動もあり、こういうツールが浸透していけば、業務のサポートになるのではないかと期待もしている。この会議のメンバーである局長級においても人事異動があり、新たな局に配置された際には、引き継ぎ書はあるが、それと合わせてこのツリー図を確認し、計画の策定状況等を俯瞰的に把握することで、業務把握の一助になるのではないかと考えている。

ツリー図については、まだまだ整理が必要であり、各局で棚卸しや、統合などをしていただき、また、使われていない計画などについては、廃止するなどの判断も必要ではないかと考えている。特に都市整備局においては、数も多く、整理が必要だと思っている。

いずれにしても、全局において、所管する計画がちゃんと使われているか、使われていないのであれば、見直しや廃止を検討するという視点で再度確認し、これだけ多くの計画を使いこなせないのであれば、今後数年をかけて計画を統合、圧縮を進めていくことも必要ではないかと感じている。

委員： 「地域いきいき健康プランあまがさき」は複数の計画を一体的に策定しており、法定欄に○が入っているが、健康増進法に基づくもの、それと自殺対策計画が市の法定計画なので、そのあたりの説明を追加すれば、よりわかりやすくなると思う。

座長： 本日いただいた意見については、どのようにするのか。また、文字の大きさはもう少し、大きくしてほしい。

事務局： 今回いただいたご意見については反映していく。各局に連絡するが、1週間ほどの期間を設けたいと思う。文字の大きさやレイアウトについては、再度調整する。

委員： この資料の施策間連携が示すものは、前期計画に記載している「施策ネットワーク」をより詳細に整理したものと認識していいのか。

それと、「まちの通信簿」と主要事業、分野別計画の一覧を、今後もパッケージとして、打ち出していくのか。

事務局： 後期計画では歯車として表現しているように、施策を越えた連携を重要視している。

「施策評価」、「まちの通信簿」そして、「主要事業」という一連の流れとして

お示したほうがわかりやすいと考えているためこのような形で今後も打ち出していきたい。

座 長： この施策間連携ツールは、1 ページ目は総合計画等の基本情報を毎年同じ内容を掲載し、2 ページ目の「まちの通信簿」は平成29年度決算の内容を、3 ページ目は「30年度のトピックス」を掲載し、4・5 ページについては、「まちの通信簿」や「施策評価」を踏まえた、平成31年度の主要事業を掲載している。6 ページ以降については、計画の策定・改定状況など、今年度から複数年度の計画のトピックスを掲載している。それを毎年度末に発行していくが、冒頭言ったように、改良を重ねながら進めていきたいと考えている。

この6 ページ以降については、私がリクエストをし、掲載してもらっている。市が計画策定の際に附属機関に対して諮問をするが、まち全体がどういう状況であり、また、何を目指している中でこういった諮問が行われているのかということの一助となるよう、全審議会共通で使っていきたいと考えている。

事務局： この施策間連携ツールに掲載している分野別計画の位置付けを補足説明させていただきたい。

「資料第1号-2」分野別ツリー図案の4 ページの施策3「学校教育」を例にすると、原則として、上から3階層となる「基本計画」、「ガイドライン等」、「実施計画等」を赤枠で囲んでおり、この枠内の新たに策定されたものや改定されるもの、改定に着手するものについて、この施策間連携ツールに記載していくこととなる。ただし、一番上の階層である「基本計画」（分野別マスタープラン）については、改定の有無にかかわらず、毎年度掲載するという整理にしている。

委 員： 最終確認するなかで、指針の取り扱いが難しく、事務局に提示していない指針がある。今回の会議での趣旨を踏まえて、再度、局内に徹底し、事務局へ連絡させていただきたいと思う。

座 長： 繰り返しになるが、まだまだブラッシュアップが必要であり、現時点では、そういう意見が出て、議論されることが大事だと考えている。

事務局： 先ほどの説明で、ツリー図の赤枠に入るものについては、施策間連携ツールに影響するので、そこは今回の1週間の修正期間で固めていきたい。

座 長： 次年度以降でよいが、都市整備局はもう少し棚卸しが必要と考えている。な

ぜ、これがマスタープランなのか、という視点や、マスタープランと個別計画の関係を局はしっかりとグリップしておく必要がある。例えば、緑の基本計画はマスタープランとされているが、その下に紐付く計画があるのか。など。

マスタープランは、その分野の基本計画という位置づけになる。

環境の分野はわかりやすい。環境基本計画があり、その下に、温暖化、廃棄物対策、生物多様性など、各分野に分かれている。

都市整備局については、局の成り立ちや業務上、非常に分野が多く、各分野が密接にかかわっているというのは理解するが、局が使いやすい形で整理する、もしくは市民や利害関係者にわかりやすいように整理していくのがよいと思う。

今年度はこれで進めさせてもらうつもりだが、施策間連携ツールの施策16の計画が多い。必然的に、改定等の動きがある計画も多くなり、また、その他の主な分野別計画にも都市計画系、建築系、治水など、数多くの計画が掲載されることとなる。それにより、改定などの特だしとなる計画と、主な分野別計画との分野が分断されている。局の中で議論するなかで、どういう表記がわかりやすいのか示してほしい。

全体をしっかりと俯瞰的に把握するという意識を各局がもつことが大事。

座長： この取組はまだまだ緒に就いたばかりである。施策評価についてもそうであるが、スタート時点は負担に感じるかもしれないが、うまく回り始めると必ず楽になる、生みの苦しみだと考えているので、うまく離陸させていきたいと思う。

何度もいうが、計画は「つくる」のが大事なのではなく、「つかう」ことが大事なのだということを組織の隅々にまで浸透させていきたい。

それでは、次に付議案件2その他である。事務局から何か報告があればお願いする。

事務局： 今回いただいた意見を速やかに反映し、各局へは、1週間の期限を目途に修正等をお願いする。

「施策間連携ツール」確定後、各付属機関の事務局と調整のうえ、3月下旬以降に開催される付属機関等において資料として活用をお願いする。

また、本日「施策評価」・「総合戦略」の企画管理課向けの説明会を実施しており、来年度に向けて動きが始まっているので、そちらについてもご協力をお願いする。

座長： これで第1回ひと咲きまち咲きあまがさき推進会議を終了するが、意見等があれば、必要に応じて事務局に連絡してほしい。

以上